

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公的扶助		必修 (社.精) 選択 (心)	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕 他	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉生活保護制度の歴史的経過、意義、内容を理解する。また、生活困窮者自立支援制度など、貧困者に対する諸制度について理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉わが国の最後のセーフティネットである生活保護制度が、社会保障制度の根幹として成立してきた歴史的経過や意義、救貧対策の手前に対応する生活困窮者自立支援制度など貧困者対策の諸制度について、同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後にフィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	公的扶助をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、講義の前週に配布する予習復習プリントに沿って、専門用語や内容について下調べを行ったうえで講義を受けることが望ましい。				
教科書	新・社会福祉士養成講座 16 低所得者に対する支援と生活保護制度/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	貧困の概念、公的扶助の歴史的経過を理解し説明することができる。			HSU(1)、HSU(3)、WP(1)、WP(2)	
②	生活保護制度の原理、原則、制度実施の実際を理解し説明することができる。			WP(1)、WP(2)	
③	生活困窮者自立支援制度の内容を理解し説明することができる。			WP(1)、WP(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (講義の進め方、講義の概略説明ののち、公的扶助の概念と範囲を学習する。 [担当：松崎 昇]	同時双方向型授業	シラバスを読んで全体像を把握してくる。	4	
2	公的扶助の意義と役割を学習する。 [担当：松崎 昇]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
3	貧困・低所得者問題と社会的排除を学習する。 [担当：松崎 昇]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
4	公的扶助制度の歴史 (海外・日本の歴史) を学習する。[担当：松崎 昇]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
5	公的扶助制度の歴史 (貧困・低所得対策の動向) を学習する。 [担当：松崎 昇]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
6	生活保護制度の仕組み (生活保護法の目的と基本原理) を学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
7	生活保護制度の仕組み (保護の原則) を学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
8	生活保護制度の仕組み (保護施設の概要) を学習する。[担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
9	生活保護制度の仕組み (被保護者の権利および義務) を学習する。[担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
10	最低生活保障水準と生活保護基準を学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
11	生活保護の動向を学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
12	低所得者対策の概要 (生活困窮者自立支援法) を学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
13	低所得者対策の概要 (ホームレス対策) を学習する。[担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
14	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	貧困・低所得者に対する相談援助活動を学習する。 [担当：梅沢佳裕]	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。 [担当：梅沢佳裕・松崎 昇]			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	0	30
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	期末試験を実施する。期末試験では、①～③について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。出題方法として、○×式、並びに記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～③に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。	試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	授業終了時に記載してもらった Teams へのチャット機能を使用した投稿をリアクションペーパーに代替し評価する。	前回のチャット投稿を使い振り返りを実施する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

【実務経験のある教員による授業科目】

担当教員：◎梅沢佳裕、松崎 昇

実践的授業の内容：授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら教員 2 名によるオムニバス形式で学習する。

\*Teams を使用した同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。

\*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。